

## 重合禁止剤・安定剤除去剤 (Inhibitor removers)

モノマーに添加された重合禁止剤や溶媒の安定剤等を、除去剤を充填した Ready-to-use なカラムにより簡単に除去できます。

低極性のモノマーや溶媒からの安定剤の除去に適しています。

### 製品仕様

除去できる重合禁止剤及び安定剤：

ヒドロキノン(HQ)、ヒドロキノンモノメチルエーテル(MEHQ)、4-tert-ブチルカテコール(TBC)等

重合禁止剤（安定剤）除去時のカラム容量概算：

HQ/MEHQ:100 ppm にて 3L

TBC:15 ppm にて 4L

\*こちらはあくまで目安です。安定剤の濃度が高ければ処理可能なモノマー量は少なくなります。

### ご使用に際して

1. 予め充填されたガラスカラムを、少量のモノマーで事前に洗浄することをお薦めします。
2. カラム上部に添加漏斗を固定し、モノマー(または溶媒)を滴下します。
3. モノマーを滴下する際にはカラムのオーバーフローを防止するために添加速度をモニターします。
4. 低融点の固体モノマーの場合、使用中はカラムをその融点より高く保ちます。

注意：モノマーを過熱させるとカラム上で重合します。加熱が好ましくない物質や高融点モノマー、粘稠モノマーに使用される場合は、カラムに添加する前に適切な溶媒中に希釈していただいても結構です。

ガラスカラムです。



## 再使用および廃棄について

再使用および廃棄について：

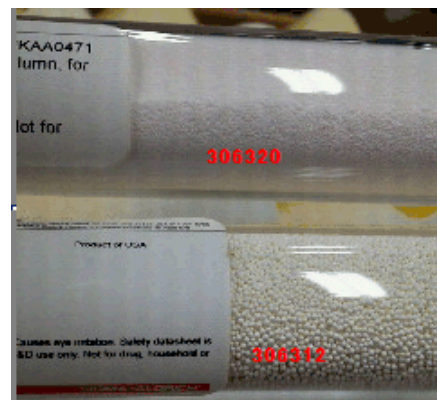
1. カラムは、消耗したら廃棄するか、または新しい充填材料をカラムの約 3/4 まで満たして再使用できます。

HQ/MEHQ カラム詰め替え:約 21g TBC カラム詰め替え :約 30g

2. 基本的にカラムは使い捨て（1 回使用）タイプです。ただし HQ/MEHQ 用カラムについては、メタノールでリンス、乾燥後、キャップで密閉して-20°Cで保管していただき、間をおいて使用していただくことが可能です。

3. 未使用のカラムは、他の固体化学廃棄物と一緒に廃棄できます。使用后、充填材料またはカラムの処分方法を決定する際、使用したモノマーの毒性と危険要因を考慮する必要があります。

製品番号	除去する重合禁止剤	製品概要	カラム長さ x カラム径
<a href="#">306312</a>	HQ, MEHQ	除去剤充填済カラム	9 x 0.8 in
<a href="#">311332</a>		詰め替え用充填剤	
<a href="#">306320</a>	TBC	除去剤充填済カラム	9 x 0.8 in
<a href="#">311340</a>		詰め替え用充填剤	



\*TBC カラムについてはアクリル酸を含む極性溶媒と一緒に使用することは推奨しておらず、そのような用途には真空蒸留をお勧めします。

**シグマ アルドリッチ ジャパン リサーチ事業部** 〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F

シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社はメルクのグループ会社です。

**E-mail: [jpts@merckgroup.com](mailto:jpts@merckgroup.com) Tel: 03-6756-8245**

本紙記載の製品は試験・研究用です。ヒト、動物への治療、もしくは診断目的として使用しないようご注意ください。なお、品目、製品情報、価格等は予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。記載内容は2019年1月時点の情報です。©2020 Merck KGaA, Darmstadt, Germany. All rights reserved. Merck, the vibrant M, and Sigma-Aldrich are trademarks of Merck KGaA, Darmstadt, Germany or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners. Detailed information on trademarks is available via publicly accessible resources.

Lit. No. TSM0@@A-2307-K